Operations Manager を使用した Cisco UCS Central のモニタリング

この章の内容は、次のとおりです。

- Operations Manager の [Monitoring] ペインについて，1 ページ
- 管理パック内のルールの一覧表示，1 ページ
- Cisco UCS のモニタリングについて，2 ページ
- Cisco UCS モニタリング サービス，2 ページ
- Cisco UCS Central モニタリング ダッシュボード，4 ページ

Operations Manager の [Monitoring] ペインについて

Cisco UCS Central 管理パックをインストールおよび設定した後で Operations Manager の [Monitoring] ペインを使用して、モニタリング対象の Cisco UCS Central のサマリとコンポーネントを表示できます。[Monitoring] ペインの [Cisco UCS Monitoring] タブ、[State Dashboard] および [Alert Dashboard] には、UCS Central インスタンスとそのコンポーネントのヘルス ステータスが全面的に表示されます。

管理パック内のルールの一覧表示

ステップ 1 Operations Manager のメニュー バーで、[Go] を選択し、[Authoring] を選択します。

ステップ 2 ナビゲーション ペインで、[Management Pack Templates] を選択します。

ステップ 3 [Cisco UCS Central] を選択します。

ステップ 4 Cisco UCS Central インスタンスを右クリックし、[View Management Pack Objects] > [Rules] を選択します。

Cisco UCS のモニタリングについて

[Cisco UCS Monitoring] タブには、検出された Cisco UCS Central インスタンスのコンポーネントについて、状態とアラートのダッシュボードが表示されます。

このフォルダには、 Cisco UCS Central に関連した以下のサブフォルダが含まれます。

- Management Pack Events
- Cisco UCS Monitoring Service
- UCS Central Monitoring

Management Pack Events

このビューには、Operations Manager でのモニタリング スクリプト実行に関連したアラートが表示されます。下のテーブルに、一般的なエラーの一部の一覧を示します。

Serial No.	エラー コード	エラーの説明	確認項目
1	19900	サービス接続エラー	[Add Monitoring Wizard] のサービスマシン エントリを確認
2	19900	サービスが見つからない、または動作しない	サービスマシンでモニタリング サービスが稼働しているかどうかを確認
3	19900	アプリケーションのエラー	アカウントがプロファイルに関連付けられているかどうか、およびそのアカウントにUCSインスタンスへの接続が許可されているかどうか確認

Cisco UCS モニタリング サービス

Cisco UCS Monitoring フォルダは、[Monitoring Service Dashboard] と、[Monitoring Service Statistics] によって構成されています。[Monitoring Service Dashboard] には、その管理グループ内で接続され、サービスがインストールされたマシンすべてのヘルス ステータスが含まれます。

[Monitoring Service Statistics] には、スレッド カウント、IO Write Bytes/Sec、Elapsed Time、IO Read Bytes/Sec、% User Time、% Processor Time、および Page Faults/Sec の統計グラフが含まれます。

グラフを選択すると、画面の下部に凡例が表示されます。グラフ形式で統計値を表示するかどうかに応じて、インスタンスのマークを付けるか、マークを外します。

サービスの開始

Cisco UCS Central のモニタリングに使用されているモニタリング サービスを停止すると、[Alert] ビューにアラートが生成されます。[Start Service] タスクをクリックして、Operations Manager コンソールからリモートでモニタリング サービスを開始します。

ステップ 1 Operations Manager コンソールを起動します。

ステップ 2 メニュー バーから、[Go] タブをクリックします。

ステップ 3 ドロップダウン メニューから、[Monitoring] を選択します。

ステップ 4 [Cisco UCS Monitoring] > [Cisco UCS Monitoring Service] > [Monitoring Service Dashboard] を選択します。

ステップ 5 [Monitoring Service] を選択します。

ステップ 6 [Tasks] ペインから [State View] をクリックします。

ステップ 7 [Start Service] をクリックします。

サービスの停止

モニタリング サービスが Cisco UCS Central のモニタリングに使用されなくなった場合、Operations Manager コンソールからモニタリング サービスを停止できます。

ステップ 1 Operations Manager コンソールを起動します。

ステップ 2 メニュー バーから、[Go] タブをクリックします。

ステップ 3 ドロップダウン メニューから、[Monitoring] を選択します。

ステップ 4 [Cisco UCS Monitoring] > [Cisco UCS Monitoring Service] > [Monitoring Service Dashboard] を選択します。

ステップ 5 [Monitoring Service] を選択します。

ステップ 6 [Tasks] ペインから [State View] をクリックします。

ステップ 7 [Stop Service] をクリックします。

（注） Operations Manager で追加されたすべての Cisco UCS モニタリング サービスが正常な状態であることを確認します。アラート ダッシュボードで、ヘルス ステータスを確認できます。

Cisco UCS Central モニタリング ダッシュボード

Cisco UCS Central Instance フォルダには、Operations Manager のモニタリング対象である各 Cisco UCS Central インスタンスのためのサブフォルダが含まれます。UCS Central Monitoring フォルダには、以下のサブフォルダが含まれます。

- UCS Central Alert Dashboard： UCS Central 内で生成されたすべてのアラートが表示されます。アラートはさらに以下のビューに分類されます。
  - [Active Alerts]
  - [Acknowledge Alerts]
  - [Cleared Alerts]
- UCS Central Diagram：すべてのインスタンスについて、さまざまな UCS Central コンポーネント間の関係をグラフィカルに表示します。
- UCS Central State Dashboard：Cisco UCS Central について、ヘルス ステータスとその他のインベントリ情報を表示します。

UCS Central GUI の起動

UCS Central GUI を起動するには、Operations Manager アプリケーションのかどうしているコンピュータと、 Cisco UCS Central との間のネットワーク接続が利用可能であることが必要です。

ステップ 1 Operations Manager コンソールのメニュー バーで、[Go] タブをクリックします。

ステップ 2 ドロップダウン メニューから、[Monitoring] を選択します。

ステップ 3 [Cisco UCS Monitoring] > [UCS Central Monitoring] > [UCS Central State Dashboard] を選択します。

ステップ 4 Cisco UCS Central を起動する必要がある、ターゲット Cisco UCS Central を選択します。

ステップ 5 [Tasks] ペインで、 [Launch UCS Central GUI] をクリックして Web UI を起動します。

UCS Central インベントリ データのロード

ステップ 1 [Monitoring] ペインで、[Cisco UCS Monitoring] > [UCS Central Monitoring] > [UCS Central State Dashboard] と展開します。

ステップ 2 Cisco UCS サーバのデータをロードする必要があるグループを選択します。
[Cisco UCS Central Instance Tasks] ペインで、[Load UCS Inventory Data] を選択します。

ステップ 3 [Load Cisco Inventory Data] をクリックします。
[Run Task- Load UCS Inventory Data] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 [Run] をクリックして、インベントリ データ出力をロードします。

ステップ 5 [Close] をクリックして、ダイアログボックスを終了します。

UCS Central への ping

Ping を使用して、Operations Manager コンソールと Cisco UCS Central との接続をチェックします。

ステップ 1 Operations Manager のメニュー バーで、[Go] タブをクリックします。

ステップ 2 ドロップダウン メニューから、[Monitoring] を選択します。

ステップ 3 [Cisco UCS Monitoring] > [UCS Central Monitoring] > [UCS Central State Dshboard] を選択します。

ステップ 4 UCS Central インスタンスを選択します。

ステップ 5 [Tasks] ペインで、[State View] を選択します。

ステップ 6 [Cisco UCS Tasks] ペインで、[Ping UCS Central] を選択します。

ステップ 7 出力の詳細を確認し、[Close] をクリックして終了します。

UCS への継続的な ping

継続的な Ping（ping-t）を使用して、Operations Manager コンソールと Cisco UCS Central との接続をチェックします。

ステップ 1 Operations Manager のメニュー バーで、[Go] タブをクリックします。

ステップ 2 ドロップダウン メニューから、[Monitoring] を選択します。

ステップ 3 [Cisco UCS Monitoring] > [UCS Central Monitoring] > [UCS Central State Dshboard] を選択します。

ステップ 4 リストから、 UCS Central を選択します。

ステップ 5 [Tasks] ペインで、[State View] を選択します。

ステップ 6 [Cisco UCS Tasks] ペインで、[Ping UCS Continuously (ping-t)] を選択します。

ステップ 7 出力の詳細を確認し、[Close] をクリックして終了します。

論理インベントリ

Cisco UCS Central について、ヘルス ステータス、インベントリ、障害情報、および コンポーネントのさまざまなビューと洞察を提供します。

それぞれの UCS コンポーネントについて、以下のダッシュボードを表示できます。

- Alert Dashboard
- Diagram View
- State Dashboard

組織の詳細情報の表示

Organization フォルダにあるさまざまなビューとフォルダによって、 UCS Central の各種論理コンポーネントのヘルス ステータス、インベントリ、および障害情報が得られます。以下の図とサブフォルダを表示できます。

- [Organization Alert Dashboard]：すべての組織とそのコンポーネントについて、アクティブ、確認済み、クリア済みのアラートをさまざまなビューで表示します。このビューには、管理パックの直接のモニタリング対象ではないオブジェクトからのアラートも表示されます。アラートはさらに以下のビューに分類されます。
  - [Acknowledge Alerts]
  - [Cleared Alerts]
- [Organization State Dashboard]：組織のヘルス ステータスおよび Cisco UCS Central の関連情報が表示されます。

（注） デフォルトでは、管理パックによって 3 つのレベルの組織とそのコンポーネント（サービス プロファイル）が検出されます。3 つ以上のレベルを検出する場合、Cisco UCS Central インスタンスの [Object Discovery] で [Discovery Level] をオーバーライドします。

（注） デフォルトでは、関連付けられたグローバル サービス プロファイルのヘルス ステータスとアラートが表示されます。以下の手順を実行して、[ShowUnassociatedProfiles] を [True] にオーバーライドできます。

1. [Authoring] > [Cisco UCS Central] > [UCS Central Instance] を選択する。
2. 右クリックし、[View Management Pack Objects] > [Object Discoveries] > [Cisco UCS Instance Discovery] を選択する。
3. [Overrides] > [Override the Object Discovery] > [for all objects of class] を右クリックし、関連付けられていないサービス プロファイルのヘルス ステータスとアラートを表示する。

サービス プロファイル

サービス プロファイルに関連する以下の内容を確認できます。

- [Service Profile Alert Dashboard]：すべてのサービス プロファイルのアクティブ、確認済み、クリア済みアラートを個別のビューに表示します。
- [Service Profile State Dashboard]：すべての Cisco UCS Central について、サービス プロファイルと関連情報をすべて表示します。

アラート操作

UCS 障害の確認応答

Cisco UCS Central の障害のために管理パックによって Operation Manager アラートが作成されたときに、この操作を実行できます。この操作によって、 Cisco UCS Central の障害を Operations Manager コンソール自身から確認できます。

ステップ 1 Cisco UCS Central に属する Operations Manager でアラートを選択します。

ステップ 2 アラートを右クリックし、[Set Resolution State] を選択します。

ステップ 3 [UCS Acknowledged] をクリックし、解決状態に設定されます。

アラートの専門知識項目の表示

専門知識項目には、Operations Manager で生成されるアラートについてのより詳細な情報が用意されています。この管理パックでは、Operations Manager でアラートとして生成されるすべての UCS 障害について、それぞれ専門知識項目がサポートされています。専門知識項目は、ユーザが障害の原因、説明、解決手順といったアラートに関する追加情報を得るのに役立ちます。アラートの解決には、解決手順に従う必要があります。

ステップ 1 Operations Manager で UCS Central アラートを選択します。

ステップ 2 アラートを右クリックし、[Properties] を選択します。

ステップ 3 [Properties] ウィンドウで [Product Knowledge] タブをクリックします。

アラートのクリア

Cisco UCS Central で障害や条件がクリアされると、Operations Manager の対応するアラートがクリア済み状態に設定されます。Operations Manager コンソールのアラートを終了するためのマニュアル アクティビティは不要です。

デフォルトでは、90 秒ごとにすべてのアラートがクリアされます。ただし、この間隔は変更できます。

アラートのクリアと更新
ルール名：Cisco UCS Update and Close Alert Rule

ターゲット：すべての管理サーバ リソース プール

オーバーライド可能なパラメータ：

- Enabled：このパラメータは、ルールの有効化または無効化に使用されます（デフォルト値：true）。
- EventQueryIntervalInSeconds：このパラメータは、イベントをクエリする間隔を設定するために使用されます（デフォルト値：120 秒）。
- Interval Seconds：このパラメータは、ルールを実行する周期を設定するために使用されます（デフォルト値：90 秒）。
- Logging：ロギングを設定します（デフォルト値：false）。
- Timeout Seconds：ルールのタイムアウト間隔を設定します（デフォルト値：60 秒）。